

ケミゾール2405 使用説明書

ケミゾール2405(略称:CS2405)は、塗装部品や塗装治具のはく離、及びプラスチック部品加工時に付着する樹脂の洗浄に使用されます。

特徴

- ・はく離可能な塗装はメラミン樹脂、アクリル樹脂、ポリウレタン樹脂、電着塗料等に対応しています。
- ・プラスチック部品(研削・研磨等)加工時のモノマー、及び切りくずに対し、洗浄性に優れています。
- ・鉄鋼、ステンレス、アルミニウム合金、及びガラスを殆ど腐食しません。
- ・使用溶剤の沸点が高いため、蒸発によるロスが少なく経済的です。
- ・処理液を正しく管理すれば、長期間性能を維持します。

組成及び性状

ケミゾール2405は、ベンジルアルコール等含有したアルカリ性はく離剤です。

外 観 : 無色～淡黄色透明液体

比 重 : 1.05～1.07 (at 25℃)

p H : 約11(at 25℃)

引火点 : なし

使用方法

【塗装部品や塗装治具のはく離】

塗装厚や硬化状態、及び素地への凹凸状態ではく離条件が異なります。

- 1) CS2405をステンレスタンクに入れ50～80℃まで加温し、はく離する部品を完全に浸漬します。
- 2) 樹脂や塗膜が充分にはく離もしくは軟化するまで浸漬します。
- 3) 浸漬時に臭気が気になる場合は、蒸発防止剤ケミゾール508をオイルシールとして使用して下さい。
- 4) はく離した部品を取出し、処理液上で十分に液切れを行います。
- 5) 軟化した塗膜は、毛の剛いブラシや高圧水洗等で除去して下さい。
- 6) もし、はく離が不十分ならば、エアブロー等で水分を除去してからタンクに戻して下さい。
- 7) 鉄鋼部品は、水洗後にフィナーレン120H等の防錆剤で錆の発生を防ぐことができます。

【プラスチック部品加工時のモノマー、及び切りくずの洗浄】

工 程	CS2405(2段)	⇒水洗(3段以上)	⇒乾燥
濃 度	原液	—	
温 度	55℃～65℃	15～25℃	
時 間	50秒～100秒	50秒～100秒	
US	28～40KHz	28～40KHz	

上記条件で洗浄やはく離できない場合、弊社へご相談ください。

<共有>

〔液管理〕

糖度(Brix%)を測定し、CS2405の水分量を管理します。

デジタル糖度計を使用し、CS2405処理液を測定します(手順は各マニュアルに従います)。

測定した糖度(Brix%)をXとし、次式から水分量を算出します。

$$\text{計算式 水分量 } Y(\%) = -6.82X + 658 \quad (X\text{の標準:}81.5)$$

〔補給〕

通常の液持出しによる液面低下分は、CS2405を補給します。

水分量が低い時(70%以下)は、処理液量に対し必要量の水を加え、十分に混合し再検査する。

$$\text{水の補給量} = [(100 - \text{ケミゾール2405水分量}(\%)) / 100] \times 0.22 \times \text{タンク容量}$$

水分量が高い時(120%を超えた時)は、液が白濁します。加熱して液中の水分を蒸発させて液を透明にする。液外観が透明にならない場合は、更新してください。

〔定期清掃〕処理液の寿命を延ばす為に、定期的にタンク内のはく離した塗膜を取り除き掃除をします。

〔槽材質〕 ステンレス(SUS304, 316)製

〔設置場所〕熱源の近くや直射日光の当たる場所を避けて設置します。

〔更新時期〕はく離時間が通常の数倍延長している場合、補給しても、ケミゾール2405水分量(%)が管理範囲に入らない場合やはく離処理後にシミ等が付着する場合は、更新してください。

適用を受ける主な法規制 (詳細 SDS 参照)

水質汚濁防止法(排水となった場合)

pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質、浮遊物質(SS)

尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談ください。

注意事項

ケミゾール2405は、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

18kg 入り アトロン缶、200kg 入り ドラム

以上